

KAMI RAKUGO

KAMI RAKUGO BIMONTHLY MAGAZINE 2-3 NO.71 February&March

TAKE FREE

かみ落語
桂文枝

池田・落語みりーじあむ
(池田市立上方落語會料展子館)



だから落語はかめられなし!!



総集編

第14回 社会人落語日本一決定戦

【TOPICS】桂文枝 大会総括 / 第14回ファイナリストインタビュー

第15回アマチュア落語家発表会寄席



日本一決定戦

予選 12月10日(土)

決勝 12月11日(日)



神奈川県
「ゆりっぺ」
風林亭 銘彦郎
ふうりんてい なるひころう
 会社員
 保坂 千秋(47歳)

10分間の中にいかに笑いを詰め込むかを意識しました。無駄なセリフを削り、端的に意味が通るような言葉を手oyoする作業は大変でしたがとても楽しいものでした。決勝進出は目指していたことはいえ、信じられない気持ちでいっぱいでしたね。自分で作った落語が評価されたことを思うと、諦めずに続けてきてよかったと思っ、嬉しさがこみ上がりました。

決勝はトップバッターだったこともあり、開き直って自分の落語に集中できたと思います。これまで経験したことのない数のお客様を前に、笑いの量も本当に大きく、忘れがたい高座になりました。明るくて笑えて、それでいて胸に迫る人間模様を10分に詰め込んだ創作落語に挑戦し、今度が入賞を目指したいと思っています。

初めて経験した一体感

歳が歳だけに大会に出場できるのは最後がも...。ラストチャンス!という思いで、昨年以上に真剣に取り組みました。予選会ではお客様との一体感が感じられたのが不思議でしたね。初めての経験で、それが手こたえといつものなんでしょうか?まさか2年連続で決勝に進めるとは思っていませんでした。決勝戦が終わって会場を出ようとしたとき、「喜真理さん!喜真理さん!」と大勢の人に拍手をいただき、びっくりしました。「歳のこともあって落語をあきらめかけていたけど、喜

歳が歳だけに大会に出場できるのは最後がも...。ラストチャンス!という思いで、昨年以上に真剣に取り組みました。予選会ではお客様との一体感が感じられたのが不思議でしたね。初めての経験で、それが手こたえといつものなんでしょうか?まさか2年連続で決勝に進めるとは思っていませんでした。決勝戦が終わって会場を出ようとしたとき、「喜真理さん!喜真理さん!」と大勢の人に拍手をいただき、びっくりしました。「歳のこともあって落語をあきらめかけていたけど、喜

- 予選通過者三覧
- 廣瀬亭 元笑
 - 都亭 かなべ
 - いさゝ家 馬七
 - 六ツ家 千鶴
 - 紅羅漢亭 義龍
 - 相模亭 桃枝
 - 貫南亭 萬福
 - 深谷亭 清太
 - 酔亭 化枝
 - 若山亭 あん光
 - 東中亭 三珍
 - 笑亭 しゃび
 - 笑亭 しゃび
 - 田舎家 かかり
 - 青雲亭 雲太郎
 - 粗筋家 山室
 - 浪遊亭 春乃
 - 口福亭 ホトヲ
 - おしろ亭 ちづる
 - 蕪風亭 三葉
 - 想家 葉志
 - 楽一家 つれ志
 - 厚の亭 響
 - 笑亭 つんべ
 - 石の上 四十六
 - 若山亭 風子
 - 華乃 びかり
 - 古久堂 福東
 - 若山亭 義龍
 - 葡萄亭 わいん
 - 菊心亭 ちから
 - 令和和 華都
 - 楠木亭 健人
 - 藤木亭 白ひ
 - 天海家 光太郎
 - 天神亭 美笑
 - 二庵 吉家 市松



令和
4年

第十四回

社会人落語



六甲おろしの出陣で嬉しがが...

予選会ではお客様に恵まれましたね。笑ってほしい所で笑って頂き、まるで代打や継投がヒタリとハマるような心地良さ。決勝進出が決まった時は、メジャーリーガーの中に高校球児が放り込まれたようなもやん...と困惑。真っ青になりました。しかし決勝戦、六甲おろしの出陣で高座へ向かう時に嬉しさがこみ上げてきました。お客様とスタッフさんに包まれるような不思議な感覚で...。ひとりでやらないで！落語はチームプレーなんだ！と、幸せと感謝に満ちた10分間でした。
 こう見えてシャイなので、知人を寄席に呼ぶことはありません。ただ、ずっと私の落語を聞きたいと言ってくれていた親友が昨秋急逝。彼女に聞いてもらえなかったことが一番の心残りです。これからは、少しずつ友人にも解禁したいと思っています。

真理さんの落語を聞いて、もう一度頑張ってみようと思えなおしました」といってお言葉をいただいた。私もがんばりなう。ちやーと思いました。

兵庫県
「初音の鼓」
五月家 鶯
キャリアカウンセラー
片岡 桃代 (54歳)



京都府
「いらち陣」
猪俣山亭 喜貴種
日本語講師・介護士
山口 喜美子 (75歳)

- 甘味家 大楠
- かみや だいら
- 池田家 圓葉
- 夏風亭 たいこ
- ふじの舎 扇蝶
- 天橋家 徳盛
- 風林亭 徳徳
- 酒徳亭 しのぶ
- 山家亭 しのぶ
- 南亭 しのぶ
- 美濃亭 しのぶ
- 花亭 徳徳
- 猪俣山亭 喜貴種
- 鶴巻亭 回答
- 若手亭 雅賢
- 遊人亭 だん扇
- 天橋家 芝家
- 輝巻亭 紀久
- 五月家 文裕
- 若乃 博斗
- つゆき
- つゆき 力丸
- ひろちゃん
- 夢見家 春木
- 鶴巻亭 梅の丞
- 笑 麗
- 皮巻亭 徳徳
- 猪俣山亭 喜貴種
- 山家亭 日和
- ちのぶ家 みのり
- つゆき亭 八橋
- 若手亭 しのぶ
- 風林亭 半丸
- 鍋家 しのぶ
- 池田家 真砂
- 天神亭 珠緒
- 高坐亭 坐高
- 季流亭 伊那美



予選6会場では、検温、消毒、マスク着用など万全の感染防止対策で皆様をお迎え。どの会場もたくさんのお客様の熱気と笑いに溢れていました。翌日11日に行なわれた決勝戦。会場のアゼリアホールは指定整理券のお客様で満席!! たくさんのお客様の前で、激戦を勝ち抜いたファイナリスト10名が熱演を繰り広げました。



緊張で口の中パサパサに!

東京都
「山越のママ」
俺亭 さらり
おれいさるさらり
会社員
靱 詩織 (34歳)

「湯屋番」は、落語で難しいですが、そろそろやってみようかなと思ひ選びました。大会に向けてはあまり対策を考へることも出来ず、普段の落語を心がけるしかないと思つていました。予選ではお客様も多く、楽しんでもらえたなという実感は多少ありましたが、まさか決勝に選ばれるとは思つていなかったので只々びっくりでした。

決勝戦では間を取る事が出来て、楽しく演じられました。仲間は決勝進出を喜んでくれましたが、面白かったが印象に残りにくいと感想も。その通りと思ひます。課題です。これからは生まれ故郷である金沢でも落語会を定着して出来るようにしたいですね。自分の好みにとられず、色々なタイプの落語を掛けて行きたいと思ひます。

普段の落語を心がけました

石川県
「湯屋番」
夢見家 春木
おれいさるさらり
会社員
上田 正樹 (60歳)

- 予選通過者二覧
- 浪乃 亜太郎
 - 俺亭 さらり
 - 猪名山亭 尚花
 - 魚十亭 美猫
 - 天満家 豊蝶
 - 猿蓑 ちんちん
 - 火災亭 珍歌
 - 文々亭 金三
 - 講風亭 笑舎
 - 笑の亭 ニンヂー
 - 相模亭 くり坊
 - 橋元屋 幸守
 - 石の上五六八
 - 猪名山亭 水車
 - 満腹亭 賢長
 - 猪名山亭 鶴馬
 - 香の家 然扇
 - 響子 京太郎
 - 猪名亭 京太郎
 - まこと ひとす
 - 猪名山亭 風鈴
 - 青草 ひとす
 - 講義 三木夫
 - さらり亭 出貴
 - かー 親のぼん
 - さうちわ 暢氣
 - 甲冑 樽蔵
 - ばか亭 びん太
 - 池田家 藤葉
 - 日南亭 節節
 - 五百家 窮庵
 - 猪名山亭 百々花
 - 良峰亭 寿猿無
 - 桐のつばね
 - 蝶々亭 のり里
 - 猪名山亭 響希
 - 夜の家 恋々
 - 池田家 響希



第14回目となった今大会。
事前審査には、全国そして海外から295通もの応募をいただきました。
その中から予選会への出場権を手に入れたのは155名。
10日の予選会当日は、148名の出演者が池田に集結しました。



昨年とは古典の改作で事前審査に落選したので、今年
は創作で挑もうと決めました。筋トシと同じでたく
さん作ったら慣れるだろうと思いい、1か月に1本は
書いていました。その中で出来たのが今回の断です。
予選ではウケたのですが、関西のお姉さま方のパワ
ーに勝つにはまだまだ力不足だなと思っていたので
「絶対決勝残ったな」という感覚はなかったです。
これでだめだったらもう自分から降りだせるもの
はないだろうと思っていたので嬉しかったです。
決勝は緊張でガチガチで口の中パサパサになりま
したー楽しくできたとは思いますが100%出し
切れたかというところじゃなかったと思います。
私は天才じゃないので二つ三つ努力と経験を積み
重ねてやっていくしかないと思ってるので思いま
わりました。30万ほしかったです!!!

お父さん見ていてね!!

今夏、最愛の父に肺がんが見つかり「余命二か
月」の宣告。家で最期を迎える事に決めた私達は、
父と毎日をおおむね迎える事に決めた私達は、
一番うれしかったのは、父が私の落語を聞いてくれた
こと。私の落語を全否定し一切聞いてくれなかった父。
「娘が笑われるのは嫌だ」と目を貸してくれなかった父。
なのに、「お父さん、聞いてみようかな、お姉ちゃんも落
語...」。品川心中を父の前で話した時は、
は喋る事も出来ず、意識が混濁していま
川心中を終えた時、力を振り絞って「万歳
たです。家族みんな「よかったね」
と笑い泣きしたのが父との最期の思い出
となりました。決勝戦では舞袖で
「見ていてね、お父さん!!」と
呟き、高座に上がりました。
大会の二週間ほど前に
亡くなった
父が、
微笑ん
で聞いて
くれた
こと
が
出来、とても幸せ
でした。この思い出深
い演目を決勝の舞台上で出
来たことは、本当にこの
上ない幸せ
でした。

東京都
「品川心中」
猿楽亭 あんみつ
のりこさん 主演
予備校講師
大谷 貴子 (52歳)

- 池田家 文弥
- 千吉夜 舞歌
- 五百家 福安
- 五百家 福太郎
- 紋舞亭 紫枝
- 三結亭 翔剛
- 花巻亭 小清
- 相模亭 とき蔵
- 春乃家 ちか風
- 満福亭 いち福
- むかろ亭 源氏
- 猪名川亭 福美
- ちかろ亭 ちかみ
- ちかろ亭 ちかみ
- ナホミカニテル
- 二松亭 風林山
- なびり家 権八
- ちかろ亭 ちかみ
- 光家 鶴太
- 美山 日比福
- 池田家 昌太郎
- 泉のり人
- 御殿せら一
- 薫風亭 秋風
- 高大家 緑生
- 権助亭 豊太郎
- ちかろ亭 ちかみ
- 千原家 圓九
- 夜命亭 雷都
- 五百家 走拳
- ちかろ亭 紫葉
- 猪名川亭 孝徳
- 野原家 八景
- 五百家 鶴
- 関のり亭 一彦
- 中仙館 酒楽
- 大山亭 ちかみ
- 池田家 ちかみ

優勝 第十四代名人 妻と娘に喜びを伝えたい！

この大会は今回が初出場。大学で「なにが面白いのがしたい」と思って紹介されたのが落研でした。学生時代は一生懸命落語をしていましたが、社会人落語家としての活動は今回の大会出場が初めて。落語と向き合うのが学生以来10年ぶりでしたので、予選会は緊張でいっぱい。まさか予選を通ると思っていなかったのが本場にヒックリしました！



千葉県
「大工調べ」
ひかる亭源氏
ごがらすんがわ
実演販売士
園田 光 (34歳)

決勝戦ではマクラの段階から、お客様の反応や視線を感じながら、夢中で演じておりました。高座中に「緊張を楽しめてるな」と不思議な感覚になり、あっといふ間に高座が終わってしまいました。下げを言い終わった後、満席のお客様から拍手をいただき「無事に終わった！」と安心感と達成感でホッと一息つきました。1位で名前が呼ばれ、本場にただただ驚きで言葉にできませんでした。賞が取れると全く思っていなかったのが、驚き戸惑い、変な汗が出ました。お客様から拍手をいただき「本場にありがた」という気持ちと、「信じられない」という思いで頭の中がぐるぐる回っておりまして。文枝師匠から「マクラがよかった」と褒められたことがとても嬉しかったです。そして今大会に送り出してくれた妻と娘に「早く喜びを伝えたい」という気持ちが湧きあがりました。電話して優勝したことを伝えると「信じられない！名人！」と笑っていたのが印象的でした。会社でも僕が日本一になったことを取り上げてくれたり、お仕事のクライアント様も「落語の大会で優勝したんですね」と話題に上げてくださいました。お仕事との兼ね合いもありますが落語を聴くのは続けて、タイミングがあればまた高座に立てればと思っております。本業が実演販売士なので、「がまの油」もいつか取り組みたい断りの一つです。あんまり「落語落語」と言いますと、妻から「働きなさいよ」と言われてしまいますので、「ここぞと聴きます(笑)」。

落語みゆーじあむ
落語日本一寄席
25日(土) 午後1時~午後3時
500円(当日:800円)
電話でも受付しています
4440 FAX:072-753-4447
落語みゆーじあむ

Check it out!! 第14回入賞者による記念寄席が開催されます！

第二夜

おじいさんのお葬式を体験したので…



大阪府
「向う付け」
浪遊亭春乃
なげゆりうらなほの
主婦・映画館のバイト
萩野 典子 (61歳)

新しいネタを決めるタイミングで、おじいさんのお葬式を体験したので、今なら「向う付け」の葬式感がわかって出来ると思いついたの断を選びました。故人に触れるのは不謹慎かとなる迷いましたが、「今年おじいさんが亡くなったので供養になるかと思って、お葬式の断をします」と言いつつ笑いが起こったので安心して落語に入りました。決勝進出はおじいさんのおかげや。と友人が言ってくれたので、決勝でも言う事にしました。マクラでおじいさんの本名を言い、本編でそれが出て笑いになったので伝わったと、それだけで満足と思えました。もちろん2位になった事はとても嬉しかったです。これからも自分のペースで無理なく、一生の趣味として落語をやっていたらいいなあと思っております。

今回は自分の一番好きな作品で挑戦しようと思いましたが、この作品は第三回大会の時に決勝に行きましたがそのときは緊張で思いっきりできなかったもので、前回より工夫を凝らしての再挑戦。予選ではお客様の反応が受け取りにくかったので、今回決勝進出は難しいかなと。決勝進出で名前が呼ばれた時はもう驚きと感激で…

落語家)・成瀬 國晴 (イラストレーター)・日高 美恵 (よせびっ編集者)【特別落語】桂 文りん【予選審査員】笑福亭 呂鶴・桂 米平・桂 坊枝・桂 春雨・塩川 英樹・西村 俊二・金井 博司・吉村 寛・榊野 祐子・大賀 健司
近日息子 / 桂 三若「生まれ変わり(桂三枝作)」 / 桂 文枝「文句の叫び」 / 文枝・鶴瓶「対談」 / 笑福亭 鶴瓶「死神」

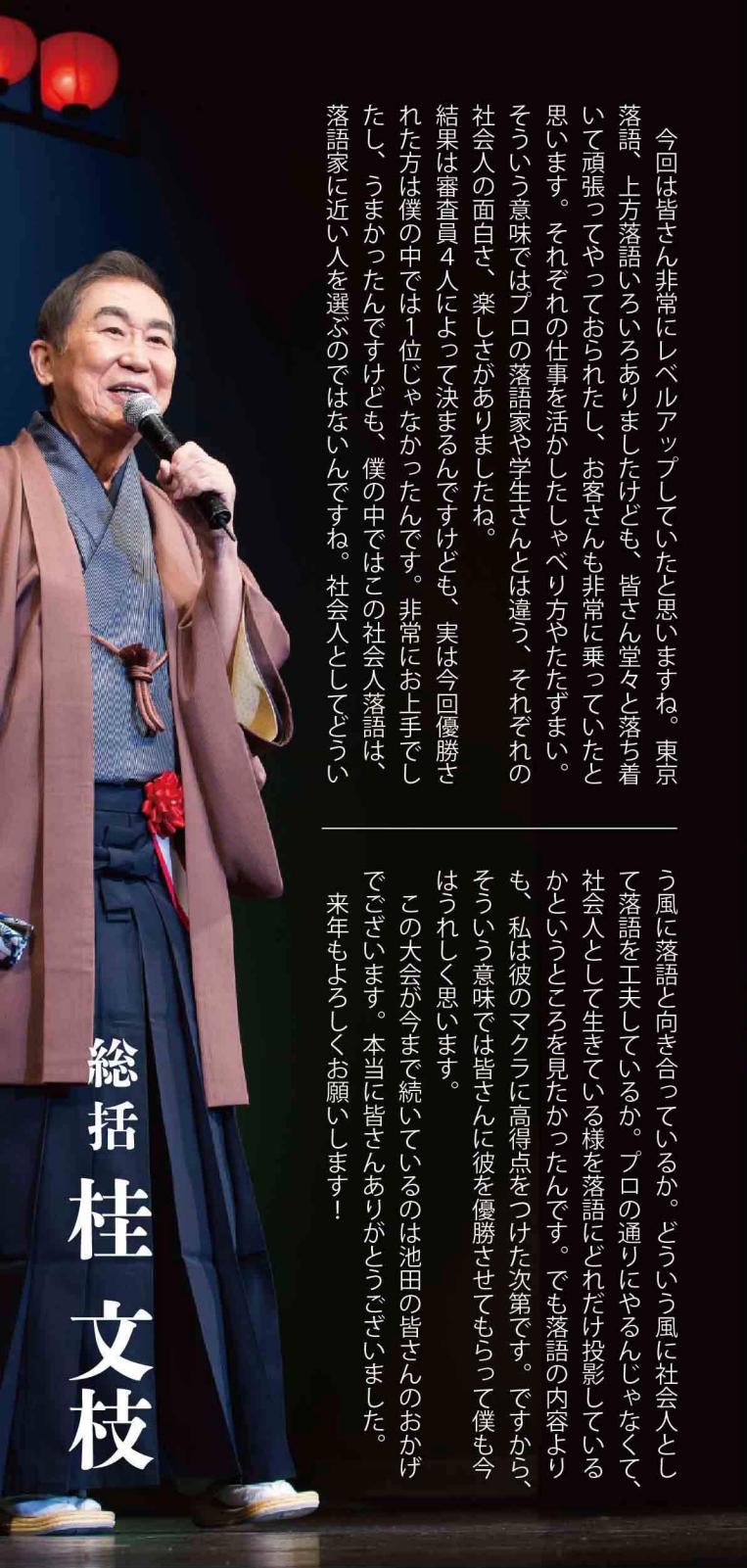


〒563-0058 大阪府池田市栄本町 7-3
電話：072-753-4440 FAX:072-753-4447
開館時間：11時～19時
休館日：火曜日、年末年始※火曜祝日の場合、翌日休館
入館料：無料(落語会などは木戸銭が必要です)
※専用駐車場はございません。
最寄駅：阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

《協力》 公益社団法人 上方落語協会

【お知らせとお願い】 イベントや開館時間などが新型コロナウイルスの影響で予告なく変更となる場合がございます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。





総括 桂文枝

今回は皆さん非常にレベルアップしていたと思います。東京落語、上方落語いろいろありましたけども、皆さん堂々と落ち着いて頑張っておられたし、お客さんも非常に乗っていたと思います。それぞれの仕事を活かしたしゃべり方やたずまい。そういう意味ではプロの落語家や学生さんとは違う、それぞれの社会人の面白さ、楽しさがありましたね。

結果は審査員4人によって決まるんですけども、実は今回優勝された方は僕の中では1位じゃなかったんです。非常にお上手でしたし、うまかったんですけども、僕の中ではこの社会人落語は、落語家に近い人を選ぶのではないんですね。社会人としてどうい

う風に落語と向き合っているか。どういう風に社会人として落語を工夫しているか。プロの通りにやるんじゃなくて、社会人として生きている様を落語にどれだけ投影しているかというところを見たかったです。でも落語の内容よりも、私は彼のマクラに高得点をつけた次第です。ですから、そういう意味では皆さんに彼を優勝させてもらって僕も今はうれしく思います。

この大会が今まで続いているのは池田の皆さんのおかげでございます。本当に皆さんありがとうございました。来年もよろしくお願ひします！

Finalist Interview

第三位

日常からヒントを得ました

今年には古典ではなく、初めて自分で落語を作り、その演目で挑戦しました。私は普段関西の学生たちに共通語を教えているので、そんな日常からヒントを得て作ることに。作り出したら、一晩で書き上げることができて、自分でもびっくりしました。予選会場は満員のお客様で、とてもよく笑っていただけましたので、やりやすかったです。決勝戦の大きな会場でお客様に笑っていただけるときは、笑いの波が押し寄せるような感じがして感動しました。第三位というのは、嬉しいのか、悔しいのか微妙です。

でも、自分で作った落語を認めていただけるところには満足しています。「たぐさんのお客さんに笑ってもらえるのは幸せなことだ」と改めて感じました。

創作落語もまた作ってみました。古典にもしっかりと取り組んでみたいと思います。



大阪府 大阪府立大学
警五子ザバート
フリーアナウンサー 講師
橋本 友子 (63歳)

第14回 社会人落語大会
3月25日 (木) 前売: 500円
当日: 700円
会場: 池田市民会館
電話: 072-753-4440

市長賞 一番好きな作品で再挑戦

水道業 宜野座 一 (62歳)

「お菊の血」
ちきりんすすぽ
お菊の血

決勝に進んだからには思いっきり弾けて楽しんでいこうと、思い通りに演じることが出来ました。手こたえは感じていたので市長賞をいただいたのは嬉しい限りです。思っていた以上に地元での反応が大きく戸惑いましたが、落語を沖縄の中で広げる大きなきっかけになったと思います。もっとも沖縄で落語ができる場所と、落語をやってみたくらいという人を増やしていきたいです。

【主催】池田市 / 社会人落語日本一決定戦実行委員会 【協賛】 池田落語会 【協力】 尼崎信用金庫

【決勝審査員】 桂文枝 (大会統括)・桂小文枝 (落語家)・桂三風・林家うさぎ 【市民審査員 (池田市役所)】 塩川 桂文枝・笑福亭鶴瓶～二人会～ 笑福亭生寿「近日」

落語みゆーじあむ イベントスケジュール

如2月

2月4日(土) 9時～正午
アマチュア落語講座 (初級・中級・上級)
2月11日(土) 9時～正午
アマチュア落語講座 (中級・上級)
2月11日(土) 14時～
第184回 落語みゆーじあむ寄席

月亭 希遊 開口一番
桂 三河 饅頭怖い
笑福亭 生喬 お楽しみ

2月25日(土) 9時38分～18時45分
第16回アマチュア落語家発表会寄席
2月26日(日) 9時28分～19時5分
第16回アマチュア落語家発表会寄席

弥3月生

3月4日(土) 9時38分～19時20分
第16回アマチュア落語家発表会寄席
3月11日(土) 14時～
第185回 落語みゆーじあむ寄席

桂 文路郎 開口一番
笑福亭 呂竹 書割盗人
桂 米平 お楽しみ

3月25日(土) 13時～
第14回 落語みゆーじあむ
社会人落語日本一寄席

※前売券発売中(電話予約可) ☎0727534440
※当日券発売中(電話予約可) ☎0727534440

木戸銭無料！
出入り自由！

一年頑張った成果を、晴れ舞台で披露します！

第16回 アマチュア落語家発表会寄席

2月25日(土) 9時38分～18時45分 2月26日(日) 9時28分～19時5分 3月4日(土) 9時38分～19時20分

猪名川亭 糸ふで
中谷 規美子

薫風亭 ぼんぼこ
伊藤 和枝

池田家 百々太郎
治村 忠男

五月家 晴太郎
松井 孝之

池田家 かしこ
浦川 遼恵

猪名川亭 藤桜
藤田 とも子

文々亭 金三
渡部 恭三

猪名川亭 立雀
立川 賢

薫風亭 笑舎
前山 博正

薫風亭 三葉
角倉 幸子

鶴亀亭 仏法
黒木 康仁

猪名川亭 糸れ喜
阿部 敏男

鶴亀亭 好翁
安河内 勝英

池田家 遊雲
坂井 経夫

猪名川亭 人とき
高木 清子

池田家 角行
佐古 浩行

五月家 稲佐久
中西 博美

薫風亭 隆志
香川 佳隆

平和家 淡蝶
淡井 恵美子

五月家 文桜
瀧口 文子

鶴亀亭 宏次郎
上村 宏也

池田家 萬葉
出口 隆一

鹿政談

まめた

寝床

親の顔が見たい

持参金

夢たまご

おおくにぬしのみこと
(創作落語)

格気の独楽

天狗裁き

初恋

ぞろぞろ

鮑のし

寝床

死神

酒粕

池田の猪買い

七度狐

救急結婚相談所

ちりとてちん

宿屋仇

住吉駕籠

べかこ

猪名川亭 永楽
西田 恵永子

猪名川亭 尚花
塩見 尚子

薫風亭 美里
存戸 美里

猪名川亭 青波
山崎 みづえ

五月家 枝舞
澤崎 美枝子

令和 華都
津賀 美季

綾羽亭 虎次郎
源田 光広

池田家 寅次郎
梶原 博次

薫風亭 文鳥
石坂 大志

池田家 ふる里
山内 さと子

五月家 一桜
佐倉 明雄

五月家 都々呂
多田 充

天神亭 おり鶴
竹中 史子

五月家 建三
富田 健治

薫風亭 仁輪草
山口 公仁子

猪名川亭 紫紺
河野 弘和

五月家 鶯
片岡 桃代

池田家 先手
菊田 盛仁

五月家 安庵
安藤 睦夫

猪名川亭 都々喜
衣笠 良子

池田家 真砂
池田 美砂子

薫風亭 秋風
村田 雅秋

五月家 八十八
中根 正雄

愛宕山

延陽伯

動物園

妄想が止まらない

ざこ八

借家借り

池田の猪買い

いくじい

道具屋

代書屋

八五郎坊主

御神酒徳利

ラーメン屋 (柳家金語楼作)

刻うどん

紙入れ

上爛屋

もう半分

竹の水仙

七度狐

池田の牛ほめ

占い師・
水品たまごちゃん

餅屋問答

堪忍袋

鳩ノ家 桃香
藤井 和代

文々亭 仁生
佐藤 仁

猪名川亭 福美
福永 知美

八軒家 一升
北田 勝章

池田家 団巢
菅原 庸介

鶴亀亭 崑楽
福田 恵一

猪名川亭 天敏
塚本 史子

鶴亀亭 団吉
福永 浩二

五月家 走平
足立 節男

池田家 ぼん彩
渡瀬 泰周

五月家 藪雀
辻 睦

猪名川亭 あん光
中野 浩子

呉羽亭 金齒
應谷 茂

猪名川亭 風鈴
俵 弓加

五月家 湯治郎
山口 正和

猪名川亭 水車
水本 敏一

猪名川亭 百々花
大坪 美智子

池田家 くるみ
山内 美緒

天満家 光太郎
坂屋 光徳

猪名川亭 喜真理
山口 喜美子

鶴亀亭 梅の丞
梅本 邦雄

猪名川亭 幸穂
吉田 美幸

猪名川亭 絹馬
柳井 貞次

池田の猪買い

宿題 (桂三枝作)

書割盗人

笠碁

道具屋

池田の猪買い

鹿政談

考える豚 (桂三枝作)

動乱の幸助

井戸の茶碗

夢の草財布

火焰太鼓

池田の牛ほめ

火事場盗人

猫の忠信

高津の富

The Zoo & 田能久

猿後家

ちりとてちん

いらち俵

月に群雲

帰り俵

お文さん

12時頃

14時頃

17時頃

奨励賞授与・修了式 講師 林家 染左

奨励賞授与・修了式 講師 桂 三幸

奨励賞授与・修了式 講師 桂 枝三郎

受講生
募集!

落語みゅーじあむ 令和5年度 アマチュア落語家入門講座

基本から学び、「池田の猪買い」「池田の牛ほめ」「好きな演目」で落語家デビュー!

特典 コース終了後、桂文枝名誉館長から高座名をつけて頂けます。
落語みゅーじあむでの発表会 + 落語みゅーじあむの落語会へ1回ご招待

《日程予定》原則として月2回・土曜日 午前9時～正午 《講師》林家 染左 《人数》10名限定(先着順)
《参加費》32,000円 《持参品》扇子・手ぬぐい・ゆかた・帯・足袋・履物など
《日時》令和5年4月22日(土)～令和6年2月24日(土)・2月25日(日)・3月2日(土)のいずれかまで、計16回

申込方法 2月4日(土)～2月18日(土)までに申込用紙にご記入の上、落語みゅーじあむにFAXか、郵送で送付下さい。
なお、参加費は2月25日までに納金ください。納金のち、キャンセルがありましても返金いたしませんので、ご了承ください。多数の場合は、抽選します。

【申込み&問い合わせ先】 落語みゅーじあむ TEL:072-753-4440 FAX:072-753-4447

かみ落語 Vol.11 令和五年一月三十一日発行 第七十号 《発行》落・楽倶楽部『いけだ』/池田・落語みゅーじあむ 電話:072-753-4440 大阪府池田市栄本町7-3 《写真》土木美樹・橋本繁明・村岡暢哉(編集・制作)株式会社フリーマン